

危機に直面する新潟県内の地域医療

—— 打開には何が求められるのか ——

県病院局は県立松代病院の診療所化を打ち出し、村上総合病院が2025年度から分娩の取り扱いを休止、上越市の新潟労災病院は2026年3月閉院を発表するなど、新潟県内の地域医療が危機に直面しています。背景には自公政権による社会保障費削減と医療人材不足の放置があり、全国的にみても新潟県内の医療危機は深刻です。

この現状と打開策について、元県議会議員の竹島良子さんからご講演いただきます。多くのご参加をお願いいたします。(入場無料、15:15よりにいがた自治研理事会を予定)

2025年8月24日(日) 13:30~15:00

新潟駅隣接 コープシティ花園ガレツソ4F ホールbc

電話 025-248-7511

講師

竹島 良子氏

(元新潟県議会議員)



参加申込用紙 (下記用紙にご記入の上、FAXでお申し込みください)

ご芳名	
ご連絡先 (住所または所属団体、連絡先)	

主催: にいがた自治体研究所 〒950-0901 新潟市中央区弁天3-3-5-305
電話 025-240-8645 FAX025-240-8646

2025年8月号

2025年8月15日



▲新潟県庁18階展望回廊より、西方、角田山・弥彦山を臨む(2025年8月13日)

にいがた自治体研究所

〒950-0901 新潟市中央区弁天3丁目3-5 新潟マンション305号

TEL 025-240-8645 Fax 025-240-8646

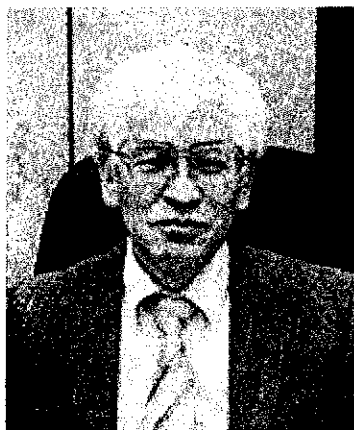
e-mail: njitiken@yahoo.co.jp

「にいがた自治体研究所」のホームページです⇒



松之山を訪ねて

にいがた自治体研究所 理事長 石崎誠也



今年（2025年）8月2日（土）に、新潟大学農学部の伊藤亮司先生と、同じく工学部の酒匂宏樹先生（県民投票条例の直接請求署名活動での新潟大学で中心的役割を担った方で、今年2月のにいがた自治研総会で、その経験を報告していただきました）、及び私（石崎）の3人で旧松之山町（現在は十日町市に編入）を訪問しました。

訪問の目的は、

- （1）今年の米作の様子や今後の中山間地に於ける米作の見通しをお聞きすることと、
- （2）県立松代病院の無床診療所への縮小について現地の人たちの対応を伺うことです。

松之山からは、自治体研究所の会員である村山邦一さん（元十日町市議）や現十日町市議である滝沢繁さん、農民連の相澤成一さん、高沢勝さん、また津南町の桑原加代子さんが参加してくださいました。

（1）松之山での米作について

- ① まず最初に今年の米作の状況についてお聞きしたところ、7月期に雨が降らず、今年の水不足は深刻だということでした。出穂期に水がないと品質にも問題が生じると語っていました。
- ② また、中山間地の農業が大変厳しい状況にあることも話されました。農村が崩壊状態にあるということです。高齢化による耕作地の減少もあり、中山間地の直接支払いが10割単価から8割単価に減ったところがかかなりあるとのことでした。さらに商店街の厳しい状況（Aコープの撤退など）や高校（安塚高校の分校）の廃止という問題が生じているとのことでした。
- ③ 集落で農業を支える人の高齢化による農業従事者の減少も話題となりましたが、一方で農民連のメンバーとして、10町歩（10ha）規模で米作を行う後継者のことも紹介されました。
- ④ お話をお聞きする前に、村山さんの田の状況を見せていただきました。田は水が全くなく、乾いている様子がよく分かりました。田の横には小さな水路があり、そこをきれい

な水が流れていましたが、それは地域のルールに従って使用しているとのことですが、水不足が深刻なため、それも節約しながら使っているとのことでした。

この小さな用水は、昭和38年頃の松之山での大規模な地滑りがあり、その原因が松之山の豊富な地下水にあったことから、その対策事業として集水井工を作り、そこから流れているものだそうです。この事業は新潟県の単独事業として行われ、当時の新潟県の専門職員であり、本研究所の会員としても指導的役割を果たした福本先生が松之山に泊まり込んで、その事業の中心的役割を果たしたとのことでした。この集水井工の工法は、その後の多くの所で採用されたそうです（『松之山町史』平成3年に詳しい）。

（2）県立松代病院の無床診療所への縮小問題

この日は、県立松代病院の無床診療所への縮小問題とそれへの対応も話されました。松代病院はベッド数55床で、内科、精神科、整形外科からなります。旧松代町や旧松之山町地域だけでなく、旧大島村（現上越市）や旧高柳町（現柏崎市）を含め、地域の医療をささえる重要な病院です。

今、新潟県は県立病院の廃止・縮小を進めていますが、松代病院については、来年（2026年）4月に無床化して診療所とする計画を示しました。今年12月にも条例を改正する方針です。

この件では、県病院局が大島地区公民館で説明会を行っていますが、そこでは参加者から「松代病院は大島の駅からひと駅で行ける。松代駅からも数分で行ける。近くて敷居の低い病院だ。入院機能を残してほしい。」という意見があったそうです。また、同説明会に参加した滝沢さんは「新潟県の入院需要は2013年を100とすると、2030年までは増加すると皆さん方（県のこと）のデータに書いてある。病床は減らしてはいけないのではないか。」という質問をしたとのことでした。

また、7月26日に「県立松代病院を守る会」が竹島良子さん（元新潟県議）を講師に行った講演会には、約150人の参加者があったそうです。松之山では村山さんも世話人のひとりとして松代病院の入院機能の存続を求める署名活動が始まっており、県職労も運動を行っているとのことでした。

なお、県立病院廃止・縮小化問題は、8月24日（日）に予定されている本研究所の講演会で竹島さんから触れられる予定です。

（了）

柏崎刈羽原発の再稼働を止める旺盛な学習/宣伝を ——県民の思いや願いに沿って——

立石 雅昭（にいがた自治研副理事長）

「新潟日報」が 7 月 15 日にネットを介して行った柏崎刈羽原発再稼働についての県民アンケートの結果が、7 月 17 日付で報道されました。

再稼働に肯定的な意見が増加している

「再稼働反対」と「どちらかと言えば反対」が、「再稼働賛成」「どちらかと言えば賛成」を上回ったというものです(図 1)。

このアンケート結果によると、昨年の総選挙時に比して、再稼働を肯定的に捉える割合が増えていること、さらに男性に賛成する人が多いという結果も報じられています。

再稼働を止める今後の運動を考えるうえで、否定的意見が多いという事実を踏まえつつ、肯定的意見が増加している要因をどのように考え、どのような運動を進めるかを広く討議する場が必要でしょう。

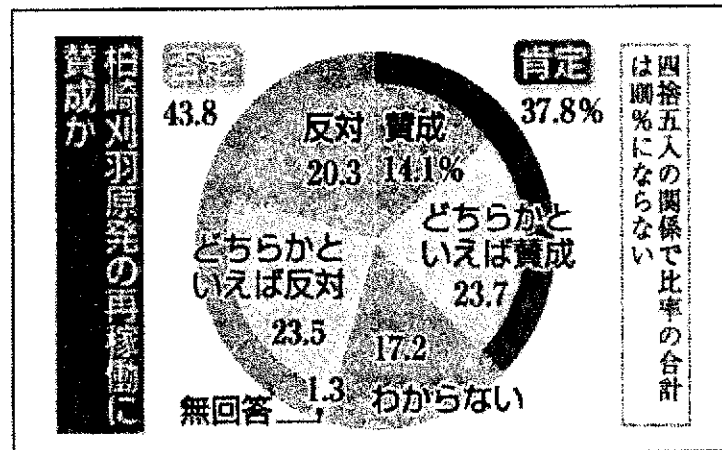


図 1 柏崎刈羽原発の再稼働への県民賛否

「信を問う方法」の回答は「県民投票」が圧倒的

花角知事は、再稼働の判断は自らの判断を示した上で、「県民に信を問う」と言い続けてきました。

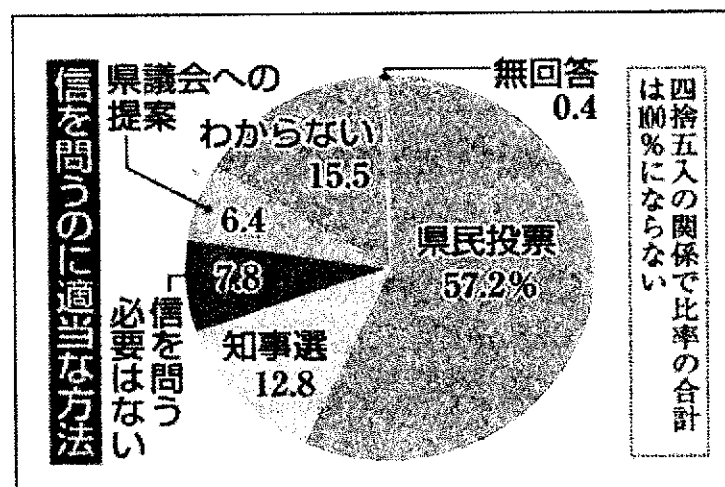


図 2 「信を問う方法」に関する県民の意見分布

同アンケートでは、この「信を問う方法」について「県民投票」が過半数であったことも報じられています(図 2)。

このアンケートが実施された時期を考えると、この結果は大変重要です。昨年来進められてきた「柏崎刈羽原発再稼働の是非は県民投票で」と条例制定を求める直接請求署名が多くの県民の支持を得て 14 万筆を越え、4 月

に県議会で条例案が否決された後でも、なお多くの県民が「県民投票」の実施を求めているという事実は、私たちが進めてきた運動に確信を与えるものです。

この声をどう生かすか、考えなければなりません。なお、この新潟日報社独自のアンケート調査は、スマホ所有者で、あるアプリを使用する方を対象としたものとされます。

県が実施する「県民意識調査」についての提言

7 月 9 日、花角知事は定例の記者会見で、再稼働に当たっての地元同意を、公聴会、首長懇談、そして、県民意識調査を実施して見極めたうえで、自らの判断を示したいとしました。

いずれも、決して単純な解は得られないと思われ、最後はかなり強引にこじつけてくるものと思われ。すでに、自治体首長との懇談は一通り終え、公聴会も 8 月下旬には終える予定で進められています。

ここでは、野村総研が行うことになった県民意識調査に関する私見を書き留めます。まずは、先に述べた県民投票条例の制定を求める署名が 14 万を超える方々から協力いただいた取り組みに確信を持つことが重要です。その力が、条例案自体は県議会で否決されたものの、県をして、県民の意識調査という形で、県民の意向を押さえる必要に迫られ、他県にない取り組みをさせる力になっていると言えます。

第 2 に、その上で、この意識調査のアンケート内容を公開させるとともに、オンラインでの意見表明も可能にさせることが重要です。そして、県が集めようとしている 9000 を遙かに超える、5 万、10 万という再稼働反対の声を寄せることです。そのためには、「原発の必要性」や「安全性の確認」について、何が問題になるのかを、分かりやすく解説した資料を作成し、急いで、広く県民に知らせることが求められます。

柏崎刈羽原発再稼働をストップさせるために…

暑い最中ですが、県民の声で再稼働への動きを止めるために、力を尽くしましょう。県民意識調査に反対という声も聞きます。運動団体が能登半島地震の後にに行った意識調査や、今回の新潟日報のアンケート調査をも、否定するのでしょうか。アンケートや意識調査は関係者の努力で進歩してきました。問題はその問いかけ方法/内容です。又、意識調査に反対するだけでは、県の動きを止められません。いろいろな意見を出し合いながら、運動の方向、課題をみんなで検討しましょう。

(了)

新潟県革新懇2025年度総会

記念講演 「能登半島地震、被災地はいま」

13:30~15:00 記念講演

被災者共同支援センター事務局長

黒梅 明 さん



能登半島地震から1年9か月、能登豪雨から1年。被災地は、住宅再建のめどが立たず多くの被災者が不安な中でくらしています。それなのに県は早々に災害対策本部を解散し、国は大企業優遇・アメリカいいなり政治で被災地支援に背をむけています。政治のゆがみをたたく革新懇運動の役割が問われています。現地のリアルな話を聞いて、いま私たちが何をすべきか、一緒に考えましょう。

15:00~16:00 県革新懇総会

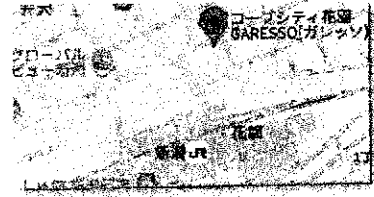
◎記念講演だけでも参加できます

新潟県革新懇
新潟市中央区西堀通
3-799 カメリア 207
TEL/FAX025-223-2339

9/7

会場 ガレッシェホール4階
(コープシティ花園)

※新潟駅北口すぐ。「ホテル東横イン」のフロントと同じ階です。



軍拡政治はどこにおかっているか

— 南西諸島の現地取材からの報告 —

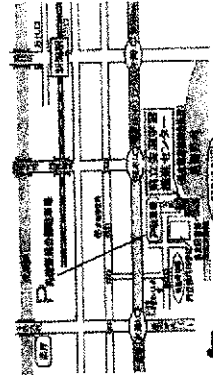
新潟県9条の会 連続学習講演会第2回



ジャーナリスト

布施祐仁さん

- 1976年生まれ、フリージャーナリスト/元『平社新聞』編集長/平和・安全保障問題を中心に20年以上、取材・執筆を続けている。
- 『日朝報道』朝スーパードで自衛隊は何を狙ったのか(三浦成之氏との共著、集英社)で石橋元山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞/近著に『従軍の代償 日米軍事一体化の真実』(講談社現代新書)。
- その他、『日米同盟 最後のリスク』なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか(朝元社)、『経済的徴兵制』(集英社新書)、『日米密約 露かれない米兵総動員(岩波書店)』など著書多数。



9/14(日)

13:30~15:30

県立生涯学習推進センター

県立図書館・文書館併設/ホール
新潟市中央区池崎3-1-2 025-284-6110

阪神バス

新潟駅13番線乗り場から女池駅「女池駅」又は「江南高校前駅」由新潟市長乗降行「北乗降」→野球場・科学館前下車→徒歩約8分

どなたでもご参加いただけます

米坂線(代行バス)時刻表

行き帰りにはぜひ米坂線列車・代行バスをご利用ください!

■米坂方面から(下り)

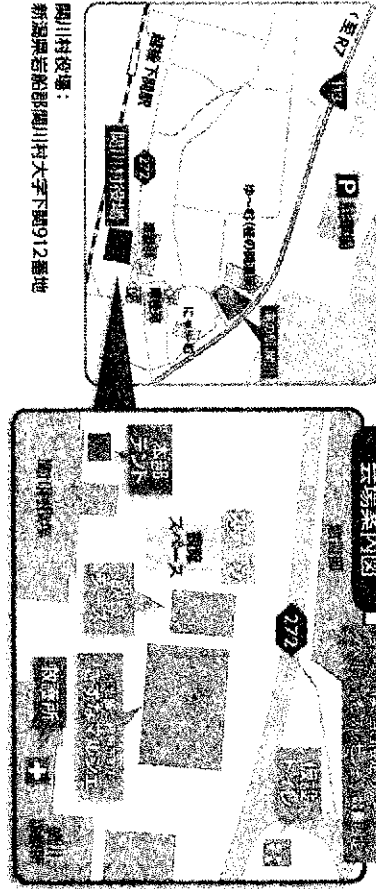
代行バス乗車 列車番号	米坂	別所	八丈	八丈	八丈
米 坂	8:15	10:29	7便	9便	103便
今 泉	9:25	10:58	11:20	13:00	
小 国	10:23	=	12:18	13:58	
越後下関	10:52	=	12:47	14:27	15:00
坂 町	=	=	13:06	14:46	15:19

■越前方面から(上り)

代行バス乗車 列車番号	八丈	八丈	八丈	八丈	別所
坂 町	9:12	10:15	10:40	10:6便	7154D
越後下関	9:31	10:34	11:39	14:50	
小 国	=	=	=	15:22	
今 泉	=	=	=	15:17	16:37
米 坂	=	=	=	17:07	

※上記以外の別所にも発着する列車・代行バスがあります。また、米坂線の各駅に停車します。時刻表の掲載はJR東日本のHPをご覧ください。

会場案内図



開川村役場: 新潟県岩船郡開川村大字下崎912番地

※出典時刻プログラムは変更になる場合がございます。

- 12:35~ 風とたんぽぽ..... 米坂線の早期全面復旧を願い制作した応援ソング「私たちの米坂線」を発表。実行委員長(開川村長)・新潟県知事・山形県知事あいさつ。実行委員(市町村長等)による、米坂線開通へのエール。
- 13:05~ あへ あいこ..... 山形県盛岡市出身ソング「ソングライター」。
- 13:30~ よしもと 望人スチーフ..... 「列車は走る」は1日でも早い米坂線の復活を願って制作。①ケルビス ②全員(ケルビス、スカチヤン、チカコホソウ)【やまがたの愛の武蔵野】2010年結成。男女・山形の地で音楽を結んだ異国結成の4人組。【越後上越上杉おもてなし県民謡】2011年結成。上越県民謡の原曲であった舞台山姥歌を基に、上越市内外で観光客のおもてなしや演歌、童謡PR活動を行っている。

米坂線 復興祭

沿線のまちの絆を深めよう

開催日時 2025 8/31(日)
10:00~14:30

場所 開川村役場前
(新潟県岩船開川村)

